

2009年11月10日

国会同意人事の江利川毅氏の人事官就任について

11月10日11時より12時まで衆議院の議院運営委員会にて国会同意人事対象の人事官候補の所信聴取および質疑が行われました。江利川毅氏(元厚生労働事務次官)に対する質問とそれに対する回答の主なものを以下にご報告します。

江利川氏の質疑を聞き、現行制度を肯定的にとらえ、公務員制度の抜本改革には不熱心な印象を受けました。また、公務員の人事・給与を決める人事院の総裁候補が、公務員出身であることも問題だと考えます。

したがって、みんなの党は江利川氏の人事官就任に反対します。

主な質疑内容

(Q)「内閣人事局」の設置に賛成か？

(A)公務員制度改革法で設置が決まっているので、法に従う。

(Q)人事院の級別定数管理機能を「内閣人事局」に移管することをどう考えるか？

(A)人事院に残すべきと考えているように見受けられる。

(Q)労働基本権を一般職公務員に付与することに賛成か？

(A)国民の総意に基づいて決めること。個人の意見は言わない。

(Q)労働基本権を付与すれば、人事院は不要になると考えるか？

(A)労働基本権付与は、国民の総意で決めること。

(Q)ヤミ専従問題に対する対応はどうするのか？

(Q)人事院が各府省の細かい問題に介入するのは不可能。各府省で考えるべき。